９月になっても頑張んダゾーン！

夏の追憶特集号

都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高新聞同好会

歩きスマホに注意！

日常生活になくてはならない存在となったスマホ。世界や日本でも様々なトラブルが相次いでいます。今回は歩きスマホについて調べました。

夏休みが始まった7月22日に兵庫県神戸市の駅のホームで「歩きスマホ」をしていた女性に体当たりをし、重傷を負わせたとして男性が逮捕送検されたニュースがネットを中心に大きな話題となりました。このニュースから修理代請求が目的の「当たり屋」も存在するようです。一方、歩きスマホをしている人が「歩く凶器」となってしまい、加害者になるケースも増えています。今歩きスマホを巡るトラブルではいくつか法的問題が生じるものの歩きスマホの行為自体には、現時点においては法規制が存在しません。

対策としては中国では「歩きスマホ専用レーン」が設けられたりイギリス・ロンドンでは「電柱にクッション」を貼ったりしているようです。また日本でも「歩きスマホ防止アプリ」が開発されるなどしています。でもやっぱり一人一人が「歩きスマホ」しないように心がけることが大切ではないでしょうか？

歩きスマホはついついやってしまいがちですが、危険がいっぱいです！

夏休みの記録

第七一回山梨県陸上競技選手権大会
男子円盤投げ
第3位　野澤大輝
第8位　天野航
男子走り高跳び
第5位　藤木大嗣
女子走り高跳び
第5位　山崎るな
女子ハンマー投げ
第8位　前田優衣
女子四×四〇〇メートルリレー
第7位　竹田彩乃　高尾夏鈴
　小林由果　丸田紫乃
第六八回関東高等学校水泳競技大会
山梨県予選
男子団体第三位
男子二〇〇メートル平泳ぎ
第一位　日川涼雅
男子一〇〇メートル平泳ぎ
第二位　日川涼雅
男子五〇メートル自由形
第二位　岩崎世那
男子一五〇〇メートル自由形
第三位　鈴木仁
男子四〇〇メートル個人メドレー
第三位　岡部貴哉
男子四×一〇〇メートルフリーリレー
第二位　渡邊響　日川涼雅
　小田和志　駒田優人
男子四×一〇〇メートルメドレーリレー
第三位　渡邊響　日川涼雅
　増田樹　駒田優人
女子団体第二位
女子二〇〇メートル背泳ぎ
第二位　新井ひかり
女子一〇〇メートル背泳ぎ
第二位　新井ひかり
女子二〇〇メートル自由形
第三位　依田真奈実
女子一〇〇メートル背泳ぎ
第三位　樋川歩実
女子四×一〇〇メートルフリーリレー
第二位　依田真奈実　藤本菜々
　樋川歩実　小林未来
女子四×一〇〇メートルメドレーリレー
第三位　樋川歩実　藤本菜々
　小林未来　依田真奈実
第七二回国民体育大会夏季大会水泳競技大会兼最終予選
女子二〇〇メートル背泳ぎ
第一位　小林未来
第三七回高校生英語弁論大会
第二位　荒美彩子
春期審査会　写真入選　大澤萌
（納め式より抜粋）
吹奏楽部
第57回吹奏楽コンクールB部門金賞

今、注目の人

鈴木啓太先生

今回は秦先生の代わりに来ていただいた鈴木先生にインタビューしました。

Q1都留高校の第一印象は？

髪型などもしっかりしていて、真面目そうな生徒たちが多いと感じました。

Q2今の印象は…？

一年生の自己紹介を通して意外と個性的だと感じました笑

Q3都留高校でどのように過ごしたいですか？

陸上部だったので体育祭のリレーで色々な先生をぶっちぎりたい！！

Q4陸上部だったと聞いたのですが部活について何の種目をやっていたのですか？

高二まで四〇〇や八〇〇ｍで高三では一〇〇ｍを走ってました。練習では酸欠で吐いてもやらなければいけなかったのでとてもきつかったけど、遠征などを通して楽しい思い出ができた！

Q5生物の先生になったきっかけは？

元々文系で経済、法学はあまり興味が無く、微生物の本を読んで（生物に）興味がわき、大学で生物を学び、それを教えたいと思うようになりました。

Q6好きな教科・嫌いな教科は？

好きな教科は生物、嫌いな教科は化学でした。生物は元々中学でやっていて好きだったので覚えられました。カタカナ用語は絵や図にして結びつけたり教科書を自分でまとめたりして勉強をしていました。

Q7好きな食べ物は？

元々お菓子会社で働いていたのでカスタードクリームなど甘い物が好きです。

Q8最後に都留高生に一言！

自分の尊敬している人の言葉を紹介します。

「僕は嫌いなことを人並みの値に引き上げるために一〇〇時間使うならばそれだけの時間を人並みの値の上にある好きなこと、得意なことを磨き上げるのに使いたい。」

鈴木先生丁寧に答えて下さってありがとうございました。

都留高校オープンスクール開催！

８月26日に行われた都留高校オープンスクール！色々な中学校から来てくれた生徒さんたちにインタビューしてみました！

Q1　在籍中学
Q2　都留高校の雰囲気は？
Q3　高校で頑張りたい事・楽しみにしている事

1　大月東中学校
2　真面目な人が多い、コミュニケーションがとりやすい
3　勉強、友達作り

1　上野原西中学校
2　一つのことに頑張れる、さわやか、つらそう、忙しそう、学園祭楽しそう！、明るい、先輩方が面白い！
3　大学進学に向けての勉強

1　猿橋中学校
2　思ったより堅くなくて良い自習室が使えて勉強できそう、部活と両立できそう
3　部活、学園祭

1　山梨英和女子中学校
2　先生が優しそう、楽しそう
3　部活

1　富士見台中学校
2　明るい、楽しそう
3　部活、勉強

1　下吉田中学校
2　明るい
3　勉強

1　上野原中学校
2　楽しそう、面白そう
3　部活、勉強

1　都留第一中学校
2　楽しそう
3　勉強

1　都留第二中学校
2　メリハリがしっかりついている
3　部活、勉強

1　東桂中学校、西桂中学校
2　明るい
3　部活

いきなりのインタビューに驚かれた生徒さんたちもいましたが、しっかりと答えてくれてありがとうございました！
都留高校でお待ちしております！

都留高部紹介

～合唱部編～

今回は歌うことが大好きな合唱部の部長さんと副部長さんにインタビューしました！

１普段の活動は？
１３０分発声練習をしてその後は発表する曲に合わせて。今は芸文祭に向けて練習しています。

２部の目標は何かありますか？
一番の要素は明るさというか楽しさですね！合唱部は清楚で堅いというイメージを持つ人が多いと思うんですが、私達は歌が大好きな人が集まっているので「歌うことを楽しむ」をモットーにしています。年々賞（の順位）が上がっているのでレベルアップしてもっと上の賞をとれるようにみんなで頑張っています！

３今まで歌ったなかで思い出に残っている曲は何ですか？
「レモンイエローの夏」です。曲調は明るくとても疾走感があり私達合唱部にとても似合っていると思います。部活の楽しさを出すことができ、都留高の合唱部と言えるような曲です。

４挑戦してみたい曲はありますか？
今男子の人数が少なくて三部合唱なので厚みのある四部の響きが欲しいです。

５部活をお菓子に例えると？
部活というか合唱を例えるとショートケーキだと思うんです！お皿がバスパート、ケーキのスポンジはアルトパート、生クリームがテノール、イチゴがソプラノだと思っています。ショートケーキを見ると笑顔になるように私達も合唱を通して一人一人の心に届く歌を届けることができれば･･･！

６顧問の先生を漢字一字で表すと？
「温」です。いつも私達を笑顔で優しく見守ってくれています。表現を磨いたり相談をする上で親身になって聞いてくれて部活に欠かせない存在ですね。

７最後に一言！
メンバーと過ごす日々は楽しいし歌うことがさらに好きになる、そんな愛で溢れている部活です！**ぜひ次の芸文祭を手伝う形や都合の合う日だけでもいいので女子でも特に男子でも気軽に部室に来てくれると嬉しいです！！**
合唱を聞いてとても感動しましたし部員の皆さんの人柄の良さを心から感じることができました。温かく迎えて下さりありがとうございました、合唱部は愛に満ちあふれた素敵な部でした。

都留高校の七不思議　～謎の彫像編～

伝統ある都留高校の七不思議第二弾！前回の反響？！をうけて、今回は体育館とハンドボールコートの間にある彫像のナゾを解明していきます！

皆さんは彼のプロフィールをご存じですか？彼の名前は「若鶴の飛翔」です。彼は「平成九年三月一日に平成五、六、七、八年の卒業生の紹介でこの都留高校にやってきた」、と言うことを取材班は突き止めました。

ここに至るまでに様々な人に取材をしてきました。まず、司書のせーやさんです。せーやさんに宮下先生が知っているのではないかという有力な情報を頂いただので、宮下先生にお話を聞きに行きました。そして、当時の校長先生のお孫さんがいると伺ったので取材に行ったのですが、タイミングが合わず会えませんでした。ナゾは解明されないのかと思われた矢先、Ｉ先生のお父様であることがわかり、早速お話を伺ったところお父様にお話を聞いて頂けることになりました。以下がその内容です。

鼻をつまんでいるように見えるが・・

彼の生みの親は、この都留高校を昭和四六年に卒業された小俣喜昭さんです。彫塑を専門としていた美術部のＯＢの方で、現在も大月市にお住まいだそうです。体育館を新しくする際に周辺整備の一環で設置されたということもわかりました。そして、彼の一番のナゾであるあのポーズの真意ですが、鼻をつまんでいるのではなく空を見上げているのだということまで突き止めました。

調査に協力して下さった先生方本当にありがとうございました！今後も調査を続け新事実を見つけ次第お知らせします！！

自学進取

スポーツ界では10代の活躍が目覚ましい。中でも卓球界ではその活躍が顕著だ。山梨県出身の平野美宇選手は小さい頃から山梨県では有名な選手だった。平野選手が小学校低学年の頃、県選手権で高校生に余裕で勝っていたのを記憶している。当時から有名であったのでサインをねだられていたが、ちゃんと丁寧にみんなにサインしていた。そのあたりは大物の片鱗ということだろう。小さい頃から競技力の向上に努めてきた子どもたちがいる一方で、高校から始める子が多い部活動もある。先日の都留高校オープンスクールでも「その競技やったやったことないんで」という中学生に対しては「大丈夫。うちの部はほとんど初心者歓迎だよ」という会話もその例だ。この秋公開されるスポーツ庁とタイアップした映画『あさひなぐ』はなぎなたが舞台だ。中学校まで美術部だった旭が高校からなぎなたをはじめ人間としても大きく成長していく物語である。ストーリーでも語られるがなぎなたは高校生から始める生徒が圧倒的に多い。夏休みを過ぎ、部活をやめてしまったみなさん。何か新しい事に挑戦してみませんか。（木）